NPO法人 遠野エコネット

エコネット通信

VOL.25

森を 川を この里の自然を 子ども達へつなげたい！

ホームページ：http://tono-econet.org/　　フェイスブックでも情報発信中！

３月のデイキャンプで子ども達とつくったイグルー。

豊かな森づくりに向けての活動

ワークショップ&オンラインイベント

ｍｏｒｉｔｏワークショップ

２月20日(日)土淵地区センター伝承ホールにて、森林資源を活かした「**ｍｏｒｉｔｏ**」というブランドづくりに向けたワークショップを開催しました。

ワークショップの講師は、このブランドづくりにアドバイザーとして協力いただいている㈱富川屋代表の富川岳氏。ワークショップは約50名の参加者が５グループに分かれ、ワークシートを使って進めました。先ず最初に、個人ワークとして、「今までの自分と森の関わり」と「自分が考える理想の森」を記入し、各自発表を。その後、グループワークとして「誰に」「何を」「どのように」「どうなって欲しい」という欄にそれぞれが考えて記入し、それをグループ内で話し合い、最後にそれぞれのグループで話し合われた内容を代表者が発表し、富川氏が助言をしていきます。

話し合われた内容は、「週末にイオンに行く人達に、森でゆったりとした時間を過ごして欲しい。」や「スマホやゲームばかりしている子ども達が行きやすい森をつくり、自然から多くのことを学んで欲しい。」など、市民が森へ行く機会をつくり、また、気軽に入れる森を求める声が多くありました。

今回のワークショップの結果も参考に、この夏に森へ多くの市民が来てもらえるイベントを企画中です。楽しみにお待ち下さい。

２月 20 日のワークショップは５つのグループに分かれて行いました。

イベントに４００名以上が参加

２月26日(土)19時から、当会が発起団体となり進める「東北の豊かな森づくりネットワーク」のキックオフイベントとして、「縄文・アイヌ・マタギから学ぶ森と人との豊かな関係」というオンラインのイベントを開催し、４４０名の視聴者がありました。

メイン講師は、東北芸術工科大学教授の田口洋美氏。田口氏は、かつて朝日連峰の山懐にあった新潟県三面集落(現在は三面ダムの底に沈む)の人々が、どのように森と関わり暮らしていたかを、若き頃に聞き取りし、また実地調査した資料を見せながら説明。田口さんが古老達から聞いた人と森との関係は、とても奥深い内容でした。

その中の古老の言葉で「山は半分殺すくらいがちょうどいい。」が印象に残りました。これは、森という自然の力を、人間の力でコントロールできる状態にして、優しい森をずっと使って行くということ。「撫育(ぶいく)」というそうです。そのために、この集落の人達は一本一本の木を覚えるくらいまで、森を絶えず見ている。これが森と一緒にある生活で、この30～40年で無くなってしまったと田口氏は話されてました。私たちが取り戻すべきは、この森を絶えず見続けるということと痛感しました。

２月 26 日に行ったオンラインイベントのフェースブックにおける告知のバナーです。今後も、フェースブックを活用して、「東北の豊かな森づくりネットワーク」の情報発信と交流をしていきます。

森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」　3/12(土)

２月のデイキャンプは、新型コロナウイルスの影響で遠野市内の小学校が休校となったために中止。３月は12日に開催し７名の小学生が参加しました。予定では、固雪の上を森探検に出かける予定でしたが、雪の状態が柔らか過ぎたので、２月にできなかったイグルーづくりを行いました。雪を踏み固めて、スノーソーという雪用ののこぎりでブロック状に切り出し、ドーム状になるように積んでいきます。途中で飽きて雪遊びを始める子もありましたが、スタッフも手伝いながら、なんとか完成できました。その後天気は一気に春の様な暖かさになり、このイグルーは４日目には崩れてしまいました。

３月のデイキャンプでは、イグルーづくりをしました。

ムーンライトハイキング　2/17(木) 2/18(金)

雪原に照らされる月明かりの下を歩く幻想的な夜の自然体験会。２月の満月は17日ということで、天候の状況も見ながら翌18日と２日間行い、のべ17名が参加しました。例年だとこの時期は、既に固雪状態で、雪原を歩くのが楽で、最後にはソリで勢いよく滑り降りる楽しみがあるのですが、今年は寒さが続いたためか、雪に足がとられながらのハイキングとなりました。17日の夜は次第に晴れて素敵な満月の下で歩くことができましたが、18日の夜は雪が降り始めお月さんを見ることができませんでした。自然体験プログラムの難しさですが、だからこそ、出会えた時の感動も大きいのだと思います。

幻想的な体験ができるムーンライトハイキング。

森のようちえん交流会２/27(日)　プレ森のようちえん3/26(土)

２月27日に、岩手県普代村で森のようちえんを実践している「つちのこ保育園」代表の高浜菜奈子さんとスタッフの堀家綾乃さんを迎え、コモンズスペース２階にて、遠野の森のようちえんの活動にスタッフとして関わってもらえそうな12名が参加し交流会を開催しました。「つちのこ保育園」の活動も、まだ始まったばかりということでしたが、開園までの経緯や現場での苦労、また、活動の手応えなどをお聞きすることができて、遠野での活動にとても有意義な交流の場となりました。今後も森のようちえんの活動の輪を広げるため、お互いに情報交換をしながら、交流を継続して行くことになりました。

３月のプレ森のようちえんで、スタッフ家族と研修しました。

間伐倶楽部　2/26(土)

２月の間伐倶楽部は、この冬に伐採を依頼された附馬牛町の山林でカラマツの伐採作業に12名が参加しました。参加者のほとんどが、カラマツを伐採するのは初めての方ばかり。杉と比べて、枝の張りも大きく掛かり木になりやすいため、ロープで牽引するなど慎重に行いました。この他にも２～３月にかけて、講座修了生の山での作業を手伝う機会がありました。せっかく身につけた山仕事の技術を活かして、森林整備を進めて行きたいと思います。

２月の間伐倶楽部にて、カラマツ伐採後に記念撮影。

森業(もりわざ)倶楽部　2/27(日) 3/20(日)

5月から始まった森業倶楽部は、間伐や製材の体験、自分で製作希望の図面を描き、材料の木どり、切断、加工などを経て、いよいよ組み立て完成までこぎつけました。今年度も、それぞれの参加者の思いが詰まった力作ばかりです。あとは、塗装をして完成。作品展が４月16日(土)～30日(土)に遠野市役所本庁舎１階多目的広場で開催します。間伐材でつくった作品をご覧下さいませ。

森業倶楽部には親子連れの参加者もあります。

活動報告（２月～３月）

薪づくり倶楽部＆森の笠地蔵プロジェクト　2/６(日)3/６(日)

２月６日の薪づくり倶楽部には19名が参加し薪づくりを行いました。また、森の笠地蔵プロジェクトとして、午前中には材木町と綾織町の高齢者のお宅に軽トラック３台分の薪を、午後は小友町の一人暮らし高齢者のお宅に軽トラック２台分の薪を届けることが出来ました。また、小友町のお宅では、煙突の交換と薪割作業も行いました。

３月６日の薪づくり倶楽部には14名が参加し、薪づくりと共に、午前中に上郷町の高齢者宅へ、午後には昨年秋に配布した附馬牛町の一人暮らし高齢者宅へ、それぞれ軽トラック３台の薪を配達し、煙突掃除もしました。附馬牛町のお宅では、煙突の中にタールがびっしりと詰まっていました。このタールに引火すると、煙道火災の危険があり危険です。薪ストーブが原因の火災発生をなくすため、その見守りも兼ねて、森の笠地蔵プロジェクトは２シーズン目に入ります。

森の笠地蔵プロジェクトでは、煙突の掃除も行っています。

３月に森の笠地蔵プロジェクトで、上郷町のお宅に薪を配達。

炭っこ倶楽部(遠野緑峰高校２年)　2/１(火)

この日は遠野緑峰高校にて、同校２年生８名が伝統的な炭の梱包材であった炭スゴづくりを体験しました。炭スゴの材料は茅(ススキ)で、スゴ編みの台に４本の縄をかけ、茅２本ずつを編んで行きます。従来の大きさの４分の１スケールの炭スゴですが、生徒達は苦労しながら懸命に取り組みました。編み込みが終わると、四角い形に整え、中に自分たちで炭焼きした松の炭を入れ、両端に縄で縫う様にしめて完成。炭がこぼれないように、両端にはヤマブキの茎を追って詰めます。できた炭スゴは各自持ち帰りましたが、各家庭で炭スゴを見てどんな話があったのか気になる所です。

遠野緑峰高校にて、炭スゴづくりの体験会を行いました。

山仕事はじめの一歩(入門)講座　2/13(日)　3/13(日)

２月の講座参加者は20名で、松崎地区センター会議室内にて、午前中はチェーンソーの目立て講習。切れが悪いチェーンソーは危険であり、チェーンソーの故障の原因にもなり兼ねません。そこで、正しい目立ての方法について、その理論と姿勢などを実習しました。午後はロープワークの実習。山の中でも何回かやっているのですが、いざやるとなると、忘れている受講者がほとんど。繰り返し練習するしかないですね。

３月の講座は今年度のまとめ。この日の参加者は17名。最初に「追いづる切り」という、主に重心が偏っている木の伐木に適した切り方を習い、その後、グループに分かれて、間伐を行いました。また、午後は雨模様になったため、薪の駅の作業小屋内で、チェーンソーのメンテナンスについて講習しました。最後には、今年度の講座の皆勤賞３名と１回だけ休んだ１名に準皆勤賞が授与されました。その後、希望者12名が松崎地区センターの会議室へ移動し、チェーンソーの特別講習を行いました。

３月の山仕事講座では、「追いづる伐り」も習いました。

森楽倶楽部　3/５(土)

今年度最後となったこの日は、参加者が10名。西和賀町から毎回来ていただいているカタクリの会代表の瀬川強さん夫婦を講師に、薪の駅から松崎町内の林道沿いにて、自然観察を行いました。この時期としては、雪が多く残る状況でしたが、雪上の動物の足痕や樹木の種などを含め、自然界の不思議な世界を堪能しました。

３月の森楽倶楽部は、雪道を歩きながら春の気配を実感です。

主な活動の予定（４月～５月）

月日	タイトル	内容	活動場所
4/3(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地蔵P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
4/9(土)	森のデイキャンプ	森探検と田んぼの種まき	オッホーの森
4/12(火)	田瀬湖一斉清掃＆ごみ川柳大会実行委員会	第９回ごみ川柳大会について	田瀬振興センター
4/16～30(土)	森業倶楽部作品展	令和３年度参加者の作品展示	遠野市役所本庁舎１階
4/16(土)	森のようちえん	森のおさんぽ他	オッホーの森
4/21(木)	遠野市総合計画審議会(代表参加)	令和４年度計画について他	あえりあ遠野
4/23(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
4/24(日)	第９回田瀬湖一斉清掃＆ごみ川柳大会	田瀬湖のゴミ拾いと川柳大会	集合:田瀬湖B&G海洋センター
5/1(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地蔵P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
5/6(金)	理事会	R３年度決算、R４年度計画他	遠野市役所会議室
5/7(土)	水辺の自然体験活動指導者養成講座	指導者養成の座学と実習	附馬牛町内予定
5/7(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(９時30分頃)
5/8(日)	山仕事はじめの一歩(入門)講座	安全講習、林分調査	松崎実習林他
5/14(土)	森楽倶楽部	春の森を楽しむ(山菜料理他)	松崎実習林他
5/14(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(９時30分頃)
5/15(日)	森のデイキャンプ	生きもの探しと春のクラフト	オッホーの森
5/20(金)	通常総会	R３年度決算、R４年度計画他	遠野市役所会議室
5/21(土)	森のようちえん	森のおさんぽ、畑づくり他	オッホーの森
5/22(日)	森業倶楽部	間伐・製材・木工講習	薪の駅他
5/28(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林

第９回田瀬湖一斉清掃＆ごみ川柳大会

遠野郷を流れる母なる川である猿ヶ石。この川は遠野盆地を取り囲む山々に降り注ぐ雨水を集め、田瀬湖へと至ります。田瀬湖の姿は、その上流にある遠野市民の暮らしを映し出しています。

雪解けが進み、真っ白い世界から一転して目についてくるのが、道路脇などに散らばるゴミです。

昨年の清掃活動の様子。放置されたゴミは、マイクロプラになっていきます。

草が伸びる前のこの時期は、清掃活動には最適。田瀬ダムができて今年で66年となり、その間に大量のゴミも流れついています。この現状を、遠野市民にも知っていただき、ゴミの無い美しい田瀬湖にしていくためのイベントです。

今年は4月24日(日)に開催。集合は東和B＆G海洋センターにて、8時30分受付開始。9時から開会行事となり、その後移動しての清掃活動です。また、清掃活動を通じて感じた想いを川柳に詠む「ごみ川柳大会」もその後にあります。入賞者には、協力スポンサーからの賞品もあります。マスク着用の上で、作業できる服装で参加くださいませ。

【編集後記】

あんなにあった雪も姿を消して、一気に遠野郷は春の陽気に包まれてきました。ウグイスが鳴き、フクジュソウが黄金の輝きを見せ、バッケも顔をのぞかせています。これからは、コブシやサクラの開花も始まり、木々が一気に芽吹く。待ちに待った、北国の春です。

しかし、春は良いことばかりでもありません。特に、今年のスギ花粉は強烈です。鼻水は止まらず、目もかゆくて、せっかくの良い天気にも、屋外に出るのが恐怖ですら・・・。森は多様な樹種が共存できる姿に変えていくべきと、鼻水をすすりながら痛感しています。(千葉)

発行:NPO法人遠野エコネット
令和４年４月８日発行
岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530
Tel&Fax　0198-64-2250
E-Mail:pahaya@tonotv.com